

令和8年8月14日16時00分
福岡管区気象台

いのちとくらしをまもる
防災減災

「令和8年熊本地震」について（第11号）

8月10日から1か月程度、最大震度5弱程度以上の揺れに注意

【防災上の留意事項】

7月28日の「令和8年熊本地震」（M7.1、最大震度7）で揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっていますので、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や気象の状況に十分注意し、やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図るよう心がけてください。

8月10日から1か月程度、最大震度5弱程度以上の揺れを伴う地震に注意してください。

なお、最大震度5強程度以上の地震についても、平常時と比べると依然として発生しやすい状況です。

【地震活動の状況】

7月28日の地震発生後、地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少していますが、地震活動は依然として活発な状態が継続しています。

8月14日15時00分までに、震度1以上を観測した地震が640回発生しています。

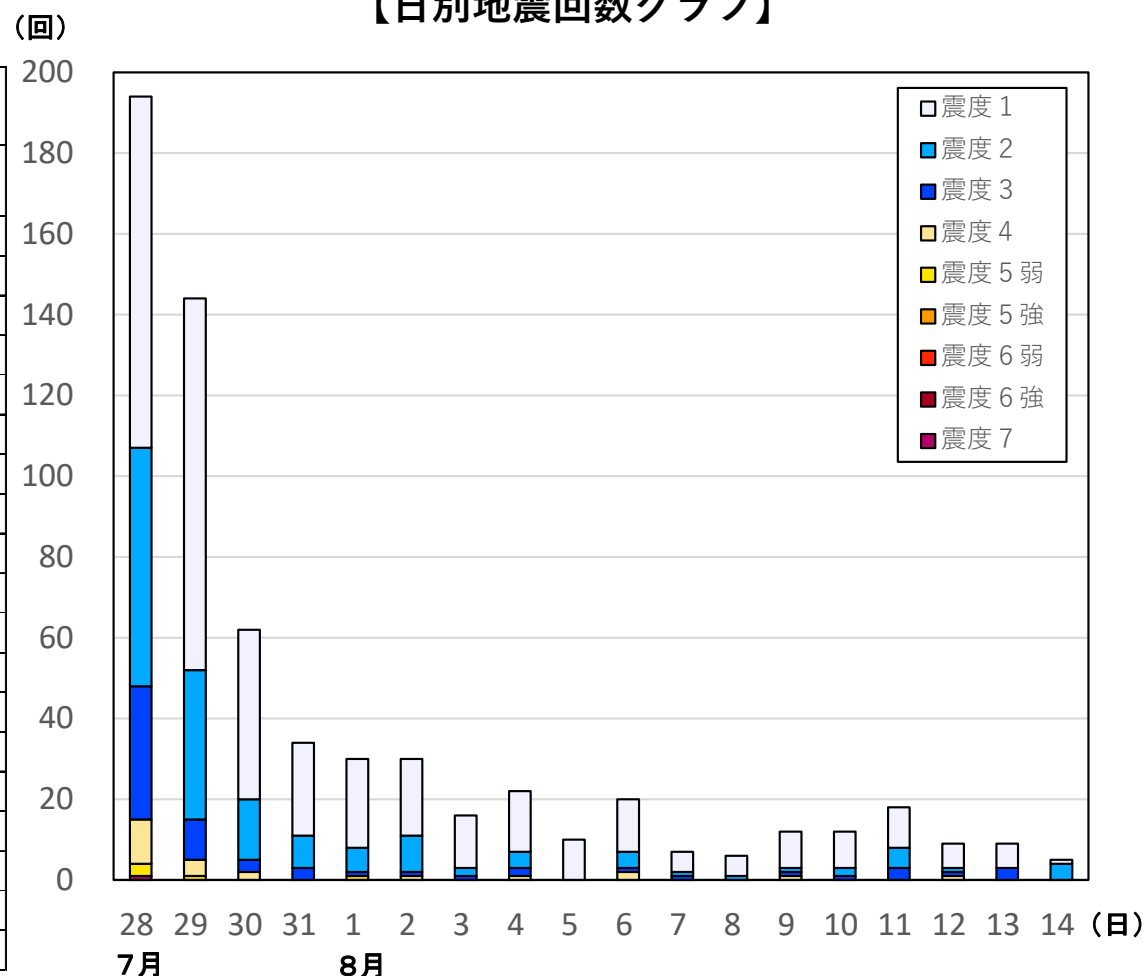
震度1以上を観測した地震の状況

【最大震度別・日別地震回数表】

（7月28日16時～8月14日15時）

月	日	時	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数	
			震度 1	震度 2	震度 3	震度 4	震度 5弱	震度 5強	震度 6弱	震度 6強	震度 7	合計	累計	
7	28	16-24	87	59	33	11	3	0	0	0	0	1	194	194
	29	00-24	92	37	10	4	1	0	0	0	0	0	144	338
	30	00-24	42	15	3	2	0	0	0	0	0	0	62	400
	31	00-24	23	8	3	0	0	0	0	0	0	0	34	434
8	1	00-24	22	6	1	0	1	0	0	0	0	0	30	464
	2	00-24	19	9	1	1	0	0	0	0	0	0	30	494
	3	00-24	13	2	1	0	0	0	0	0	0	0	16	510
	4	00-24	15	4	2	1	0	0	0	0	0	0	22	532
	5	00-24	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	542
	6	00-24	13	4	1	2	0	0	0	0	0	0	20	562
	7	00-24	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	7	569
	8	00-24	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	575
	9	00-24	9	1	1	1	0	0	0	0	0	0	12	587
	10	00-24	9	2	1	0	0	0	0	0	0	0	12	599
	11	00-24	10	5	3	0	0	0	0	0	0	0	18	617
	12	00-24	6	1	1	1	0	0	0	0	0	0	9	626
	13	00-24	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	9	635
	14	00-15	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5	640
合計			387	159	65	23	5	0	0	0	1	640		

【日別地震回数グラフ】



※掲載している地震回数は速報値であり、後日の調査で変更になることがある。
8月14日は15時までの回数。

- 7月28日16時27分の地震(最大震度7)以降、今回の地震活動の領域で震度1以上を観測した地震が640回(最大震度7:1回、最大震度5弱:5回、最大震度4:23回、最大震度3:65回、最大震度2:159回、最大震度1:387回)発生(8月14日15時00分現在)。

地震活動の状況

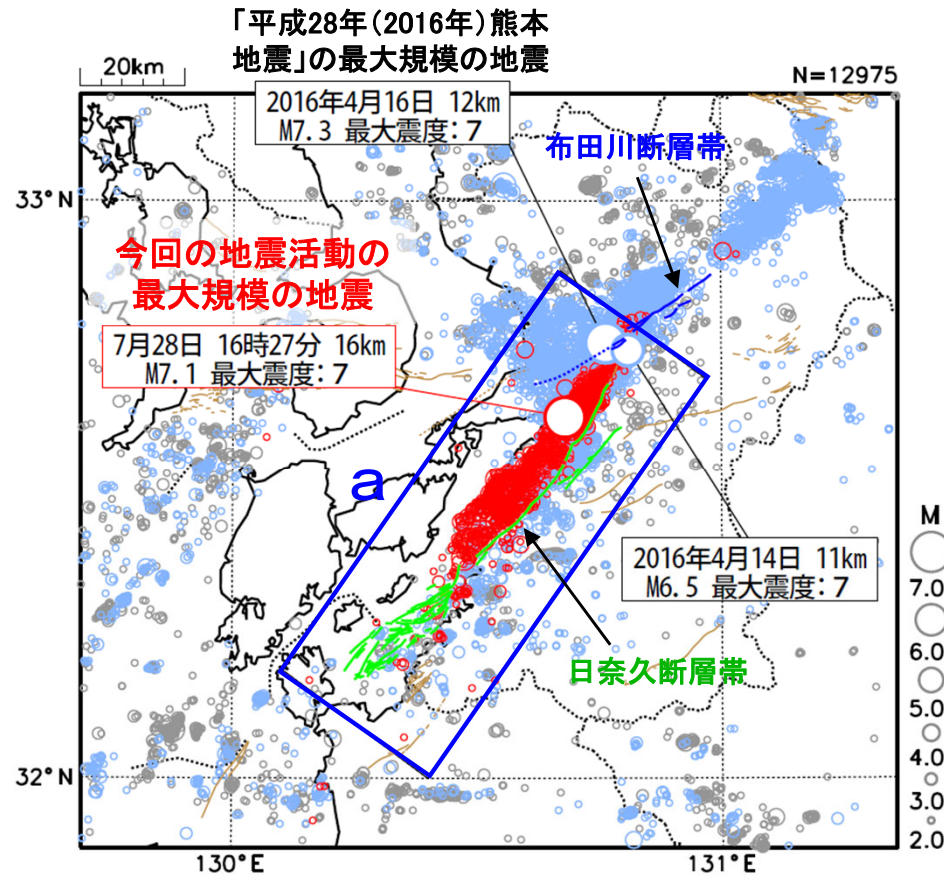
震央分布図

（2000年10月1日～2026年8月14日12時、 $M \geq 2.0$ 、深さ0～20km）

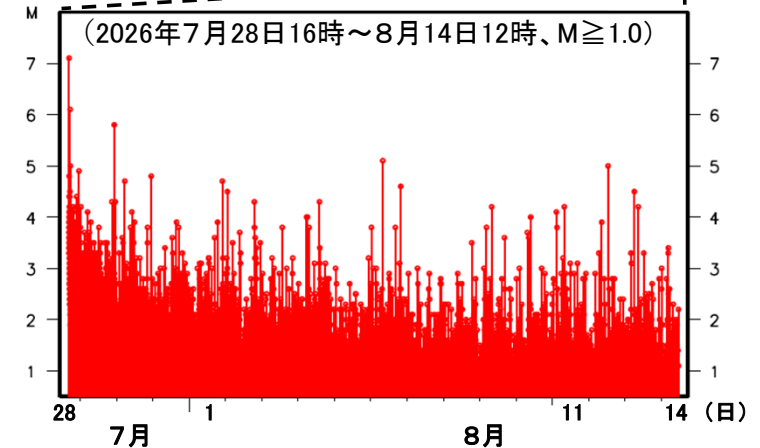
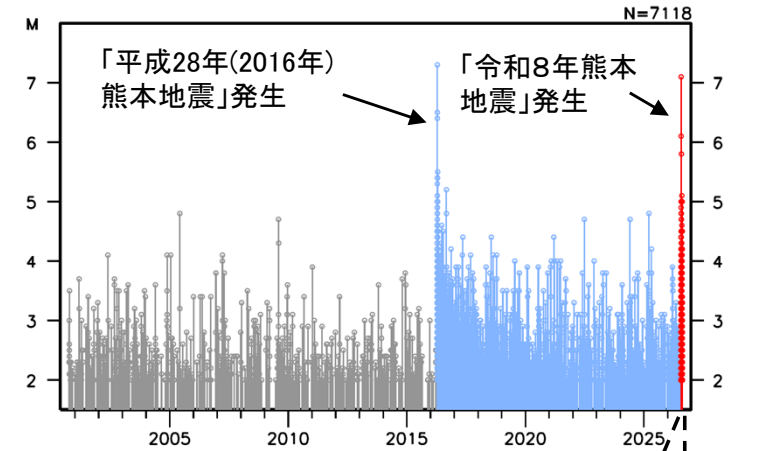
2016年4月14日21時以降の地震を**水色○**で表示

2026年7月28日16時以降の地震を**赤色○**で表示

青、緑、茶色の線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す



領域a内の地震活動経過図



※震源要素は後日、修正することがある。

※8月13日以降の地震は精査されていない値である。

- 今回の地震活動の領域(領域a)は、2026年7月28日にM7.1の地震(最大震度7)が発生して以降、活発な地震活動が継続している。
- 今回の地震活動の最大規模の地震の北東側では、「平成28年(2016年)熊本地震」で最大震度7を観測した地震が発生している。